

屋外の遊び場の整備 取り組み事例①（遊具更新）

資料 4

整備年度：令和5年度

公園名：温海公園（湯温海）

事業費：約4,070千円

整備遊具：座板式の2連ブランコから低年齢児でも遊べる2連ブランコへの更新

整備効果：座板式のブランコと比較し、幼児など幅広い年代の子どもたち安心・安全に利用できるものへ更新

温海公園の遊具に関する子どもたち等との意見交換会の開催

参加者：あつみ小学校児童会運営委員（4～6年生）、PTA役員、あつみ小学校長、あつみ保育園長

内 容：小学校や保育園への遊具に関するアンケートおよび意見交換会を行った。

主な意見：親子で楽しめる遊具が欲しい。ブランコの要望が多かった。幅広い年齢の子供が遊べる。

結 果：親子で楽しめるブランコ（インクルーシブブランコ）に遊具を決定

整備前



整備後



屋外の遊び場の整備 取り組み事例②（水遊び場設置）

保育園、幼稚園や子育て世代等より、他市にある噴水などの夏の遊び場の整備を望む声があることから、試験的に水遊びの設備として床噴水を設置したもの。

整備年度：令和6年度

公園名：鶴岡公園二の丸広場

設置期間：7月16日（火）～9月29日（日）

作動時間：午前9時～午後6時まで

設置内容：床噴水パネル（2.7m×4.5m×1面）、人感センサーにて起動（30秒の無人状態で停止）

事業費：約1,520千円

＜アンケート結果（利用者の声）＞ ※ 開設期間中17件の回答

利用者層：主に未就学児や小学校低学年の親子連れの利用者が多かった。

検証結果：「子どもたちが喜んでいて。来年度以降も続けてもらいたい。

場所をもっと広くしてもらいたい。休める場所の充実など。



利用状況写真